

平成29年度市政懇談会記録調書

対象地区	佐野中学区
日 時	平成29年7月1日(土)午後1時30分～午後3時40分
場 所	佐野コミュニティセンター
参加人数	46名

内 容 (要旨, 発言, 集約事項等)

事前質問

1. 雨水排水の分水化について (建設部)
2. 東聖寺前交差点改良について (建設部)

懇談質問

1. 公園について (要望)
2. カーブミラーの予算について (要望)
3. 佐和駅の自由通路について (都市整備部)
4. 小松原線の開通について (建設部)
5. 排水計画について (要望)

市長の講評

◇事前質問 1 (雨水排水の分水化について)

これまで側溝の改修を要望してきたが、現場状況により作業が困難であることを考慮し、改修ではなく、新たに排水路を整備し冠水への対策をお願いしたい。

■建設部長

柏野団地内の既存の側溝につきましては、開発当初から排水容量が少なく、強度の弱いU字溝でつくられております。これまでも傷みが激しい箇所や雨水の流れが悪いところについて部分的に改修し、流れをよくするよう対処してまいりました。

今回のご提案をもとに現地を確認し、効率的で効果的な雨水排水の方法を検証し、再度地元と協議を行い、維持補修に努めてまいりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

◇事前質問 1 (雨水排水の分水化について)

今後の工期等の時期伺いたい。

■建設部長

現場は見ておりますが、まだその場所、点的なものというか、狭いところしか見ていませんので、これから全体的な水路の流れとか、どうすればいいかという検証をして、柏野自治会にご提示できればと思っておりますので、これからどのぐらいかかるかということですが、その辺の検証が済み次第ということにはなるかと思えます。そんなに長い時間ではないと思えます。今年度中には、できれば予算時期の前にお話ししまして、協議をいたしまして、対応できればなと思っておりますので、よろしく申し上げます。

◇事前質問 1 (雨水排水の分水化について)

分水の願いは、今回が初めてではないことは認識しているか。

■建設部長

分水の件につきましては、正直な話を言いますが、私はこれで2年目なのですが、初めて聞いたところですが、しかし、今までも回答した中でお話ししていますが、相当傷んでいるところもありまして、U字溝の手直し等、排水の補修関係は、これまでやっていたという経過は聞いております。

◇事前質問 1 (雨水排水の分水化について)

平成27年度の市政懇談会の席上で、分水化の総改良をお願いしている。それについてはやってもらったが、効果がほとんどない。その後、すぐ平成27年10月に市役所に行って、今回と同じ内容で、図面を示し、検討して回答するとなっているが、返事がないので今回、改めて言っている。

■建設部長

平成27年10月には話をしているということですが、その辺は持ち帰りまして、そのときの事情をよく聞きまして、早急に次の段階に進めるように対処し

たいと思います。

◇事前質問 1（雨水排水の分水化について）

分水するという点に関して、効果を認めるのか、認めないのか。やるならいつやり、計画を立てるのかと要求をしているのです。それに対して答えをいただきたい。

■建設部長

相当時間がかかっているのですが、大変申し訳ありませんが、答えを出すには、現場の検証と、どうするのかというのは、話し合いながらやらなければならないと思っております。すぐには、いつできるかというのは、今の時点ではお答えできなくて大変申しわけないのですが、それは今後持ち帰りまして、すぐに協議に移らせていただきたいと思っております。申し訳ありませんが、よろしくお願ひします。

◇事前質問 1（雨水排水の分水化について）

平成27年10月には、言っているから、時間がなかったなんていうのは、怠慢である。民間企業はちゃんとやっている。なぜ、市はできないか。

■建設部長

そういうことであれば、本当にまずい対応だと思っております。ただ、平成28年度の要望にはなかったと思っております。要望があったとすると、平成27年か平成26年かと思っております。

◇事前質問 1（雨水排水の分水化について）

ここに平成26年度の市政懇談会の記録があり、それに書いてある。平成27年も同じように載っている。平成28年は、テーマの登録がおくれて取り上げてもらえなかった。

建設部長からよく計画を立てて、それを柏野団地に示してください。

■建設部長

大変失礼しております。わかりました。平成26年度、平成27年度と要望があったということでもあります。現場にも行って詳細な対応をしなければならないと思っておりますので、早急に現場を確認します。

◇事前質問 1（雨水排水の分水化について）

1カ月後でもいいから、少なくとも何らかの回答していただきたい。

■建設部長

それはお約束いたします。よろしくお願ひいたします。

◇事前質問 2（東聖寺前交差点改良について）

昨年もお願ひしたが、朝夕の渋滞緩和対策のために左折帯の設置を引き続きお願ひしたい。

■建設部長

東聖寺前の交差点につきましては、昨年度より交通量調査や地元の自治会と説明会や協議を行い、地元自治会の要望を踏まえ、道路を所管する常陸大宮土木事務所やひたちなか警察署と協議を重ねてまいりました。

しかし、当交差点に左折帯を設けた場合、歩行者等の通行帯が狭くなり、規定の道路幅員がとれない等、これまで以上に歩行者等に危険な状態となるため、常陸大宮土木事務所及びひたちなか警察署ともに東聖寺前の通路をなくす等の隣接地権者の協力がなければ交差点改良は不可能との回答をいただいております。

この件につきましては、地元の自治会に説明をさせていただいております。これからも地元自治会や隣接地権者のご協力をお願いするとともに、左折帯の整備以外の手法がないか、自治会と協議を検討してまいりたいと思っております。

◇事前質問2（東聖寺前交差点改良について）

東聖寺前の交差点に左折ラインを設けるとのことだが、小学生や中学生も通り、狭くなるということもあり、東聖寺の出入り口が2カ所あるので、そこも塞ぎたくないところもあり、厳しい面があるが、別な観点も含めて、話し合いをして継続していきたいと思う。

◇懇談質問1（公園について（要望））

佐野保育所の代替保育所が稲田地区に建設され、来年4月から保育所が稼働することになっているが、この保育所は大体1ヘクタールの用地になると聞いている。そこで要望したいのだが、稲田地区は、人口が非常に増えている地域であるが、住民が憩えるような公園がない。今度できる民間の保育所を核として、周辺地域が大体10ヘクタールぐらいあるとは思いますが、そこに自然公園的な公園を検討していただきたい。

◇懇談質問2（カーブミラーの予算について（要望））

カーブミラーの設置を要望しても切られることがあるので、安全上も必要な施設だと思うので、予算要望、拡充をお願いしたい。

◇懇談質問3（佐和駅の自由通路について）

佐和駅の自由通路の開通のスケジュールがわかれば、教えていただきたい。

■都市整備部長

自由通路をつくるには、ある程度の工事をするためのストックヤードが必要でありまして、今考えているのは、東口の交通広場、ここに大型機が入れるように、そして都市計画道路もきちんと整備して進めるようにと検討していると

ころであります。基本的には、来年度から精力的にJRと調整を図りながら、目標としては、平成34年度に橋上を含めた自由通路というものを整備していきたいと思っております。皆さまには、逐次いろいろな情報を提示して、ご意見をいただきながら考え方を整理していきたいというふうに思いますので、よろしくお願ひいたします。

◇懇談質問4（小松原線の開通について）

昨年も言ったが、小松原線はいつになったら開通するのか。強制撤去でも何でもいから、必ずやっていただきたい。

私のところは、自動車の通り抜けが激しいので、そこができるると久慈川の赤い鉄橋のところまで真っすぐスムーズに行けるので、通り抜けする人が多くなるのではないかと思って、前にも話したように信号を設けていただきたい。時間的な回答をできるだけ早くいただければと思っている。

■建設部長

今の状況をご説明しますが、その土地の所有者と買収の話し合いが進んでいないことで、道路を強制的に工事ができないかということで、今、県と調整しております。去年も言ったかもしれませんが、その辺で今、調整中でありまして、ひたちなか市だけではなくて、やはり東海のほうも関係することから、東海とひたちなか市、一致団結して県に話し合いに行こうという段階です。

◇懇談質問4（小松原線の開通について）

県の確認がとれないのか。強制執行は県がやるのか。

■建設部長

強制執行は県との協議の中での話し合いになりますので、その辺を今調整しているところです。

◇懇談質問4（小松原線の開通について）

信号は、常葉台の出口も関連しているので、道路管理課からは返事があり、東海とつながって、その辺の交通量を見て対処したいという返事があったが、信号をつけると、何百メートルに3個ぐらい信号ができてしまうので、あの道路をつなげることになった理由はわからないが、当団地としても出口の信号機が1基もないと、交通量を計ってもらっても、かなり混雑しているといったものがあるので、強制執行なりで対処して、方向性を出してもらいたいと思う。

また、小貫山のJRの小さな踏切は、皆さんにご協力いただいて、8月いっぱい、周辺の横断歩道や車両進入禁止、自動車の待避所の改良をやるという返事をいただいたので感謝している。

◇懇談質問5（排水計画について（要望））

昨日、緊急治水計画の会議があり、話を建設部長から伺った。非常にすばらしい案だと思う。

しかし、先ほどから言われているように稲田、高場地区は、中丸川の最上流にあることを考えれば、排水に対して非常に難しい状況にあり、そういう中で、施行するに当たって、想定外も含めて費用対効果というものを確実に出してもらいたい。

それから、柏野団地から2、3年前の話があったが、稲田地区では、平成元年に市長から返事をもたらしているにもかかわらず、いまだに雨水排水が直らない。この稲田地区の雨水排水に関しては、特に高場排水路に関しては、ずっと定点測定はしてきたので、昨日も建設部長に、その件は再三お伝えしたので、よろしく願いたい。

■市長の講評

活発なご意見やご指摘をいただきまして、ありがとうございます。

当然のご指摘やご希望については真摯に受けさせていただきまして、対応させていただきたいと思えます。私が聞いていて、何が問題なのかと私自身考えておりましたが、やはり現場に行ってお互いにどうしたらいいかという、少し胸襟を開いた話し合いや方策について検討するなり、意見をすり合わせるなり、一つの共通点をちゃんと持ったほうがいいのではないかなと思って聞いておりました。やらない理由は、私もさんざん役所の中で聞かされているので、おっしゃっていることはよくわかります。

ただ、どのようにやればいいのかという提案が、必ずしも市役所の今までの技術の集積やノウハウだけで十分でないことも、もしかしたらあるかもしれませんが、その辺については、またいろいろな専門家も含めて検討させていただいたほうがいいかと思いました。柏野の対応については早急に、この問題については、確かに昔からあると思えますが、私も現場で、それなりの対応をさせていただいているものだと思っていたところもありますが、問題がそうではないということでもありますので、しっかり取り組みをさせていただきたいと思っております。

それと、幾つかご提案をいただきましたが、特に稲田地区に公園をというように、確かに市内も、何でうちは公園がないのだと言われると、そのために都市計画上の公園と、どういう目的の公園なのかと考えると、例えば散策するのにちょっと寄りたいたか、また子育てをするのにお母さん方が集まってちょっと話をする、そういう場所も欲しいとか、いろいろなニーズ、形があると思うのですが、こういった使い方、こういった公園がいいかというのは、よくすり合わせをさせていただいて、中身を詰めていったほうがいいの

ではないかと思えます。

今までの例で、この地区では、高野地区でコミュニティ広場は、提案をしていただいて制度ができました。市が土地を借り上げて、そこは広場や公園として地元で使う。ちょっとした整備には補助も出させていただき、芝を張ったり、遊具やフェンスを張るといようなこともやりました。地主にとっては、これは無償で市に貸していただければ、固定資産税等はいただきませんというような仕組みで、コミュニティ広場という一つのやり方があります。その後余り広がっていないのですが、もう一つは、馬渡からも、そういうご意見があつて、ひたちなか地区の国有地の中で、一部活用できるような専用の公園をつくるというような方策も一部とりました。今回恐らく森、平地林の部分を活用したらどうかというご提案かと思えますが、地権者の方との協議もさせていただきながら、少し間伐をするとか、下刈りするとか、きれいにすることによって、余り手をかけずに、そういった広場的なものができる可能性もあるのではないかと思って聞いておりましたので、貴重な提案として聞かせていただきました。これは市内各地にいろいろな形態やニーズがありますが、ある程度共通の問題でもありますので、しっかり受けとめさせていただきたいと思っております。

あと、カーブミラーの予算については、よくわかりました。

それと、東聖寺の現場、私蒸し返すつもりはないのですが、確かに変わった線形であるのは間違いないと思えます。佐和駅中央土地区画整理事業から延びて、区画整理のエリアを超えて、今度は国道6号に向かっていくという、一つの一本の道路ですが、大変ご不便もかけるでしょうし、なかなか特殊な形でありますので、どういう方策がさらにいいのかというのを、引き続きしっかり対応を考えていきたいと思えます。

それと、東西自由通路、いつ通れるのかというご質問でありましたが、都市整備部長からの回答はありましたが、私はちょっと見解が違ひまして、東西自由通路を早くやれと言っています。橋上の駅と一緒にやれといったら、そうなるのですね。歩けるだけでも早くしろというふうに私は思っています。そんなこといったって、技術的に市長、できないと言われれば、私も考えなければいけません。この問題は、かなり前から要望をいただいているのです。そういうことでもありますので、取り付けの道路もできて、きれいになったところで駅ができていますというようなことではなくて、通路だけでも先行できないかと。これはJRを利用する人の身にもなってみろというようなことも当然あるわけですから、そこは私自身も検討をさせたいと思っております。きっちりやりたいという考え方も役所らしいのでありますが、そこをそうでなくやる方法もあるのではないかなということも考えております。

それから、高野小松原線の消防の広域化に伴って通す道路であります、これも建設部長の答弁がいささか曖昧だったと思いますが、これははっきり言いまして、強制的にやるしかないと判断をせざるを得ません。したがって、実は県と協議しております。何でこんな道路が必要だ、なんて私とすれば何を今さら言っているのだというやりとりをやっている暇はもうありませんので、東海村も、ぜひこの道路は早く通したいと。これは広域的な避難の問題も含めて非常に重要な道路でありますから、それなりに法的な措置をとらせていただかないと、とても皆さま方のご期待やご疑問に答えることはできないという状況であります。これは非常に公益的な大きなものでありますから、そのようなつもりであります。

しかし、何でこんなところにつくったのかと言われるかもしれませんが、これは東海の消防署とのつながりの関係がありまして、東海村と協議の上で考えたわけではありますが、そのときにも少し甘かったと思うところがありますが、ここまで引っ張っているからには、今私が申し上げたような対応をやらせていただきたいと思っております。

そして、緊急治水計画については、昨日ご説明させていただいて、その際にもいろいろご指摘やご提案もおありだったとは思いますが、これはひたしななか市のまちづくりの中の一つの弱点といいますか、かなり最大級の弱点だろうと思います。全体で言えば平らなところありますから、山のほうからずっと川が下っていくような、そういう地形のところではありませんので、どこかで滞れば、そこに水がたまるという状況ですし、田んぼに宅地を開発してきた経過からいって、田んぼが水を蓄えてきたものが、そのままどこかに流さなくてはいけないという状況でありますから、この雨水排水対策というのは極めて重要な問題であります。

したがって、高場雨水1号幹線、大島も整備させていただきましたが、実はこれで終わりではないという認識で、やらせていただいたところであります。これ自体も相当な事業費がかかったわけではありますが、今後70億円という概算事業費を出しておりますが、70億円出して、本当に効果があるようにちゃんとやれというご指摘だと思うのですが、そういう意味でこの技術的な問題、経験則だけでは済まないこともあるかもしれませんが、現状をよく見ながら、場所によっては、これは田彦のほうであります、田彦小学校のグラウンドに一時貯留機能を持たせるとか、いきなり全部流れ込むというような形になるべくないように配慮しつつ、でも一定の時間には排水できるというような、そういう対応をしていきたいと思っておりますし、余り言い訳しても、どうしようもないので言いませんが、中丸川下流の堰も着実にやらなければいけないと思っております。

これも実は地権者との関係があって、なかなか用地確保がうまくいかなか

ったのですが、今回用地取得が全部終わりました。ですから、ダムや中丸川の河川の堰、これもどこまでやればいいのかというのは、少し県とすり合わせをしないとイケない状況で、昨日も実はそういった会議に近い形で意見交換を県とやりましたが、やはり現場に一番我々の言っていることをよく理解してもらいたいということを申し上げています。

さらに、皆さま方からいけば現場に近いのは自分たちということで、ちゃんと聞けというのが、皆さま方のお話だと思っておりますが、まさにそのとおりです。ただ、全体をどうするかという設計、知恵については、かなり専門的なプロとしての技量というのが求められていると当然思いますので、しっかり取り組んでまいりたいと思っております。

いつも佐野地区につきましては、この水の問題等、また身近な問題で、かなり具体的なお指摘やご要望もいただくわけですが、本当に冒頭に申し上げたとおり、今日だけが市政懇談会のつもりで全くないわけです。先ほどのお話を聞いていると、市政懇談会をやって、その後の364日は何もしないではないかと言われると困りますが、決してそんなつもりはありません。問題意識を共通に持つことと、方法について、やはりお互いに膝を突き合わせて考えることが大切ではないでしょうか。私は、そんなふうに感じました。いずれにしても、今日いただいたご提案やご意見は、次にどうしても進むべきいろいろなテーマでありますので、しっかり受けとめさせていただいて、また一歩でも二歩でも進めるように頑張っていきたいと思っております。

なお、佐野の皆さま方には、先ほど会長から市民会議のお話もありましたが、やはり自分たちでできる課題、問題については、自分たちで解決しようという、例えば立哨交通安全の活動そのものといった部分、これはどうしても行政がやるべきだと、行政の仕事であるという部分について、当然そういう役割があるかと思っておりますが、これからも市民会議、コミュニティ、そして佐野中学区自治会の皆さま方と、そういった意味での役割をしっかりと果たさせていただきながら、安心安全のまちづくりのために歩みを進めてまいりたいと思っております。

今回の市政懇談会をまた一つのきっかけにさせていただいて、次のステップに進むことをここでお約束させていただいて、余りまとめにはありませんが、御礼のご挨拶にかえさせていただきます。どうもありがとうございました。